

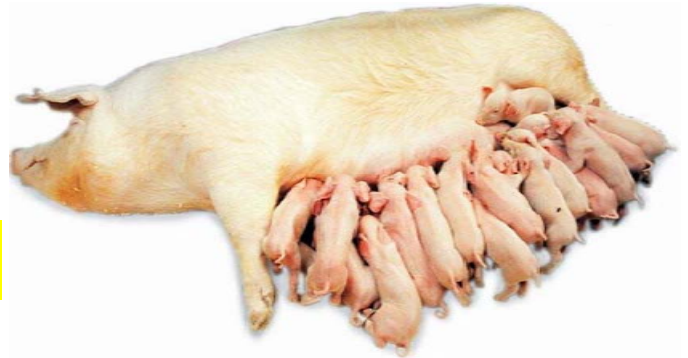
## 特徴

- \*たくさん生まれた時、小さい豚を通常離乳舎移動体重程度に育てあげる
- \*1時間に設定時間以下しか給餌されないので、母豚と子豚の生理に最適
- \*低コスト生産への一つのチャレンジ！
  - ・母豚 300 頭の一貫の場合（平均産子数 14、基本離乳頭数 10.5 と仮定）
  - ・2 頭ずつ集めて毎週 20~30 の群をつくる（→ミルクウィーンフィーダー）
  - ・母豚回転が 2.4 の場合、出荷頭数 28~30 頭/母豚/年も可能（肥育事故次第）

## 使い方のポイント

- \*一度に数腹から 20~30 頭を集める（少なすぎるより多すぎる方が良い！）
- \*開始時にはスプーンで口に入れて覚えさせると良い（管理者努力）
- \*豚の頭数と数で設定時間と飼料の量を加減する、24 時間自動給餌
- \*2~10 kg/cm<sup>2</sup>の水圧が必要（水圧で水とともに餌を押し出すため）
- \*終了までリキッドフィードを与える（決して固練りにしない：故障の原因）

多すぎて大変！



## 「ミルクウィーンフィーダー」

（飼料の標準的な使い方）

	分娩舎（ナース小屋）					離乳舎
子豚日令	0	4	10	14	20	25
飼料名	初乳	代用乳	バイオミルク		ビオクリープ ~	

代用乳は初期の餌付けに有効で、ラクトセーフ（三洋貿易）・バースデーミルク（伊藤忠飼料）  
・NT ミルク（協同飼料）などがあります。

【弊社推奨飼料】	【対象体重】
↓ バイオミルク 豚血しょうたんぱく配合	~5 kg
バイオクリープ 豚血しょうたんぱく配合	5~7 kg
ビオクリスタ 豚血しょうたんぱく配合	7~12 kg

弊社の人工乳（豚血しょうたんぱく配合済）がお勧めですが、日頃お使いのものでも結構です

- ◆ 嗜好性に応じて豚血しょうたんぱく製剤（豚豚拍子：APC ジャパンなど）を適量配合してください。